

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【公開番号】特開2003-324678(P2003-324678A)

【公開日】平成15年11月14日(2003.11.14)

【出願番号】特願2002-127285(P2002-127285)

【国際特許分類第7版】

H 04 N 5/91

H 04 N 1/00

H 04 N 5/76

【F I】

H 04 N 5/91 J

H 04 N 1/00 107 B

H 04 N 5/76 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月5日(2005.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理装置及び画像処理方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力された動画像信号から所定のタイミングで一画面の静止画像信号を抽出する抽出手段と、
上記抽出手段により抽出された静止画像信号を記録媒体に記録する記録手段と、

上記抽出手段により抽出された静止画像信号の合計がN画面(Nは2以上の整数)に達した場合、上記抽出手段が新たに一画面の上記静止画像信号を抽出したことに応じて、既に上記記録媒体に記録されているN画面の静止画像信号の中の一画面の静止画像信号を削除すると共に、上記削除した静止画像信号に代えて上記新たに抽出された一画面の静止画像信号を加えたN画面の静止画像信号を上記記録媒体に記録する静止画処理手段とを備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

上記抽出手段は、上記動画像信号の時間経過に従って上記静止画像信号を抽出する時間間隔を変更することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項3】

上記抽出手段は、一定間隔で上記静止画像信号を抽出すると共に、所定時間経過する毎に上記静止画像信号の抽出間隔を長くすることを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項4】

上記記録手段は、上記抽出された静止画像信号を上記動画像信号と対応付けて上記記録媒体に記録することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項 5】

上記記録手段は更に、上記動画像信号を上記記録媒体に記録し、上記抽出手段は上記動画像信号の記録開始の指示に応じて上記静止画像信号の抽出処理を開始することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項 6】

上記静止画処理手段は、上記記録媒体に記録されたN画面の静止画像信号に対して優先度を付加し、上記記録媒体に記録されているN画面の静止画像信号のうち、最も優先度の低い1画面の静止画像信号を削除することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項 7】

入力された動画像信号から所定のタイミングで1画面の静止画像信号を抽出する抽出ステップと、

上記抽出された静止画像信号を記録媒体に記録する記録ステップと、

上記抽出された静止画像信号の合計がN画面（Nは2以上の整数）に達した場合、上記抽出により新たに1画面の上記静止画像信号を抽出したことに応じて既に上記記録媒体に記録されているN画面の静止画像信号の中の1画面の静止画像信号を削除し、上記削除した静止画像信号に代えて上記新たに抽出された1画面の静止画像信号を加えたN画面の静止画像信号を上記記録媒体に記録する静止画処理ステップとを有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 8】

上記抽出ステップは、上記動画像信号の時間経過に従って上記静止画像信号を抽出する時間間隔を変更することを特徴とする請求項7記載の画像処理方法。

【請求項 9】

上記抽出ステップは、一定間隔で上記静止画像信号を抽出すると共に、所定時間経過する毎に上記静止画像信号の抽出間隔を長くすることを特徴とする請求項7記載の画像処理方法。

【請求項 10】

上記記録ステップは、上記抽出された静止画像信号を上記動画像信号と対応付けて上記記録媒体に記録することを特徴とする請求項7記載の画像処理方法。

【請求項 11】

上記記録ステップは更に、上記動画像信号を上記記録媒体に記録し、上記抽出ステップは上記動画像信号の記録開始の指示に応じて上記静止画像信号の抽出処理を開始することを特徴とする請求項7記載の画像処理方法。

【請求項 12】

上記静止画処理ステップは、上記記録媒体に記録されたN画面の静止画像信号に対して優先度を付加し、上記記録媒体に記録されているN画面の静止画像信号のうち、最も優先度の低い1画面の静止画像信号を削除することを特徴とする請求項7記載の画像処理方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えば、動画像データを記録媒体に記録する装置或いはシステムに用いられる、画像処理装置及び画像処理方法に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0006】**

そこで、本発明は、上記の欠点を除去するためになされたもので、動画像に支障をきたすことなく、良好な高精細静止画像を記録できる、画像処理装置及び画像処理方法を提供することを目的とする。

【手続補正5】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0008****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0008】****【課題を解決するための手段】**

斯かる目的下において、本発明は、入力された動画像信号から所定のタイミングで一画面の静止画像信号を抽出する抽出手段と、上記抽出手段により抽出された静止画像信号を記録媒体に記録する記録手段と、上記抽出手段により抽出された静止画像信号の合計がN画面（Nは2以上の整数）に達した場合、上記抽出手段が新たに一画面の上記静止画像信号を抽出したことに応じて、既に上記記録媒体に記録されているN画面の静止画像信号の中の一画面の静止画像信号を削除すると共に、上記削除した静止画像信号に代えて上記新たに抽出された一画面の静止画像信号を加えたN画面の静止画像信号を上記記録媒体に記録する静止画処理手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正6】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0009****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0009】**

また、本発明は、入力された動画像信号から所定のタイミングで一画面の静止画像信号を抽出する抽出ステップと、上記抽出された静止画像信号を記録媒体に記録する記録ステップと、上記抽出された静止画像信号の合計がN画面（Nは2以上の整数）に達した場合、上記抽出により新たに一画面の上記静止画像信号を抽出したことに応じて既に上記記録媒体に記録されているN画面の静止画像信号中の画面の静止画像信号を削除し、上記削除した静止画像信号に代えて上記新たに抽出された一画面の静止画像信号を加えたN画面の静止画像信号を上記記録媒体に記録する静止画処理ステップとを有することを特徴とする。

【手続補正7】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0010****【補正方法】削除****【補正の内容】****【手続補正8】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0011****【補正方法】削除****【補正の内容】****【手続補正9】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0054****【補正方法】変更**

【補正の内容】**【0054】****【発明の効果】**

以上説明したように本発明では、入力された動画像信号から所定のタイミングで一画面の静止画像信号を抽出し、抽出された静止画像信号の合計がN画面（Nは2以上の整数）に達した場合、抽出により新たに一画面の静止画像信号を抽出したことに応じて、既に記録媒体に記録されているN画面の静止画像信号の中の一画面の静止画像信号を削除すると共に、削除した静止画像信号に代えて新たに抽出された一画面の静止画像信号を加えたN画面の静止画像信号を記録媒体に記録するように構成した。